

鳥羽市地域公共交通会議会議録

会議の名称	令和2年度第2回鳥羽市地域公共交通会議全体会
開催日時	令和3年3月29日(月) 14:00~15:30
開催場所	鳥羽市役所西庁舎 3階 中会議室
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1. あいさつ 2. 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 鳥羽市地域公共交通計画(案)について【資料1】 (2) 令和3年度鳥羽市地域公共交通会議予算(案)【資料2】 3. 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 危険なバス停の移設について【資料3】 4. その他
会議資料	事項書・席次表・委員名簿 【資料1】 鳥羽市地域公共交通計画(案) 【資料2】 令和3年度鳥羽市地域公共交通会議予算(案) 【資料3】 バス停留所安全性確保対策実施状況一覧表
公開・非公開の別	公
傍聴人の数	1人
出席委員	立花会長、加藤委員、三村委員、中垣内委員、濱崎委員、中村委員、山下委員、鈴木委員代理 伊藤氏、松林委員、宮崎委員代理 安部氏、天野委員代理 中根氏、今井委員、岩本委員代理 武中氏、片岡委員、豊田委員、伊藤委員、下田委員代理 大津氏、清水委員、木下委員、山下委員、西川委員、濱口委員、田畑委員、福田委員
オブザーバー	なし
欠席委員	小崎委員、角屋委員、山路委員、高木委員、小寺委員、今井委員
事務局	定期船課 世古、野呂、角谷
<p>1. あいさつ</p> <p>○事務局長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会 ・配布資料の確認 <p>○会長挨拶</p> <p>令和2年度第2回鳥羽市地域公共交通会議全体会にご出席いただきましてありがとうございます。この会議は2月10日に開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルスの感染状況等を考慮し、本日に延期させていただきました。</p> <p>本日の会議の主な内容は、昨年開催いたしました第1回全体会に引き続き、新たに策定しております「鳥羽市地域公共交通計画(案)」について、ご審議を賜りたいと存じます。</p> <p>前回の会議におきまして、委員の皆様からいただいたご意見などを参考に計画(案)を修正いたしました。今会議で再び皆様からご忌憚のないご意見をいただき、同計画の策定を完了させたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>2. 協議事項</p> <p>(1) 鳥羽市地域公共交通計画(案)について</p> <p>○事務局</p> <p>鳥羽市地域公共交通計画(案)の修正について、経過を説明。</p> <p>各委員及び各課へ意見照会を行い、パブリックコメントを実施した。具体的にいつ、何をするのが示されていない等の意見を踏まえて、計画(案)への修正を行った。</p> <p>○委員(事務局)</p> <p>パブリックコメント実施前に示した計画(案)より、大きな変更として追加した「実施計画」について説明。いつ、誰が、何をしていくのか、どこを目指すのかがわかりづらいという意見を踏まえて、関係所属で検討を行いました。</p>	

「Ⅱ. 観光客の利用促進」について、2-6より観光関連の事業を記載しておりましたが、交通部門における受け入れ態勢の充実にも取り組むことが必要と考え、「とばすまっぷの見直し」のほか、「定期船やかもめバスのキャッシュレス化の検討」、「バス停の記号表示」等を盛り込みました。5年内の財源確保や塩害による機器整備の対応の難しさ等については検討を要しますが、まずは手法を考えていくところから取り組みたいと考えています。

「Ⅲ. 一体的な交通システムの構築」に向けて、様々な交通機関がある中、皆様にお集まりいただき情報共有を行うだけでなく、具体的に、鳥羽で交通機関を利用する際に、ルート検索から支払いまで一体的に済ませられるような便利な体制づくりを目指す必要があると考えました。

「Ⅳ. まちづくりの方向性と連動した持続可能公共交通」の分野については、これから各地区で地域の皆様と話をしていくタイミング等を記載しました。これからの人口減少、市予算の歳入落ち込みを考えた際に経営の効率化が必要となりますが、通勤・通学・通院・買い物といったそれぞれの目的が果たせる環境を維持する工夫を考えていきたい。

○委員

福祉バスの見直しについて、市バスが走っていない区間を繋いでいると認識しているが、その代替案はあるか。

○事務局長

自家用有償運送などを一つの手法として踏まえながら、これから地域の方々と話し合いを行い、移動手段を確保していきたい。

○委員

現在に福祉バスは無くす方向ではなく、ということか。

○事務局長

無くす場合は代替交通を考えるなど、これからは重複して行政サービスを行うことは考えにくい。

○会長

P.9「有料の特急列車は」と記載している部分について、このままでよかったか。

○委員

どの交通機関を利用する場合でも有料であるので、「有料の」という記載は不用。

○会長

他に意見はないようなので、記載は省くこととする。

○委員

P.30の4-2「答志島内での陸上移動手段の検討」において、実施主体に地元自治会・町内会を入れるべき。

○事務局長

追加させていただきます。

○委員

答志航路の昼過ぎからの便が答志で1人しか降りない時もある。和具で降りる人が多い。だからといって和具止めにしてよいという話ではないが、答志島内の陸上移動について考えることで定期船の経費削減になるのではと思っている。

答志島架橋の協議会にて、20年後の人口減少を考えるとその状況で架橋が実現するかわからない。フェリーはどうかという話も出た。22時までフェリーが出ると島民は通勤・通学圏が広がる。

○会長

離島架橋とフェリーの話がありましたが、現実には人口2千人を切った島でも架けているところもある。そのことよりも、東南海地震が迫っている中、孤立してしまうことが予想される。また、夜間救急では夜間に安全な状態で船を走らせることの対応の難しさがある。フェリーの話がありましたが、夜まで運航するとなると船員の確保の問題などがある。答志島内には県道がある。答志島架橋を実現化していく方向で、島民の皆様と力を合わせて活動していければと考えている。

○委員

これまで活動しているがなかなか進まない。夜間の救急体制を考えれば橋が必要なことは島民も理解している。

○会長

島民と市が協力していかなければいけないが、架橋について今日の会議ではここまでとします。

○委員

5年の計画なので、この5年で何ができるかを書かなければいけない。減便を行うことは明確に書いてある。答志では3つの港にそれぞれ運行できればよいが、集約となれば自治会や住民のみなさんにご協力をいただくことになるが、協力いただけなくてもやらなくてはいけないという意味だと感じた。ただ、公共交通は地域の住民がどうしてそうしなければいけないかなどの背景を含めて理解していただき、最善の方法は何か議論しなければいけない。

22時のフェリーの話があったが、本土のバスより船の最終便の方が遅くてもおかしくはない。陸であればバスでなくてもタクシーがある。そのように、離島でも全国的には海上タクシーがあるので、それを位置付けてもよいと思う。

港を絞るのであれば頻度を上げるだとか、もう1便遅く走らせるなどやればよいと思うが、計画にはそこが具体的に書かれていない。今から計画を修正するのは大変なので、この場で共有しておく方法でも良いと思う。

MaaSについても5年間検討で終わってしまうといけない。鳥羽ではバスや定期船の検索がGoogleでできない。そもそもが不明確であったので追加した実施計画ではあるが、あえて載せないという選択肢はどうか。来年度予算から具体的に実施できるように今後この計画で検討していくのはどうか。今までやってきたことで継続するものはよいが、新しいものが入りづらくなっている。検討の時間が充分にとれなかったため、もう一度実施計画を練り直してもよいのではないかと。

○会長

減船・減便については利用者の声も聞きながら検討を進めていきたい。MaaSについても鳥羽市が追い付いていない部分は進めていきたい。実施計画を載せるかどうかについて何かありますか。

○事務局長

前回の会議でいつ、何をやるかわからないという意見をいただきましたので、実施計画を作成し示さしていただきましたが、指摘していただいた通り、まだこれから考えなければいけない部分もあります。

○会長

委員皆様については、前回からの疑問点について示させていただいた実施計画ですが、今後もブラッシュアップしていくという扱いでよろしいか。

○委員

鳥羽で今までやっていないことで、この5年間の早い時期にやっておきたい重点施策はありますか。ないのであれば、今回のような実施計画がなくても支障がないように思う。MaaSという言葉を使わずに鳥羽の移動ができる仕組みづくりが必要ではないかと。

○委員

この交通計画は国へ提出するものか。また、市民に向けて発表するか。

○事務局長

本会議で承認後、国へ提出します。公表はホームページで行います。

○委員

市民向けのところを大事にしてほしい。市民にわかりやすく、実施計画は載せてもよいのではないかと。P.25の乗船人員について、維持したいというのはわかるが現実的に厳しいのではないかと。ただし、これまでと比較して利用者数は減少しているが、島民の満足度が上がったところを大事にしてほしい。それから、定期航路の市負担額について、厳しい数字だと理解する。前回の会議にも出席したが良い目標値を置きながら、実態は上がらなかったということにならないように今話したことを意識してもらいたい。

○委員

他市では時間があつたこともあり、計画の概要版を作成している。鳥羽市では準備しているか。

○事務局長

概要版については用意していない。

○委員

何ページもある計画は読まないで概要版が大事。

○会長

少し戻しますが、定期航路市負担金の話について、赤字補填であるため現状のままでは膨れ上がってしまうので、前回の会議でお話しした通り、新しく造船した際に減船・減便を含めて抑制していかなければ

れば継続できないという目標値である。

○委員

減船となると利用者数も減りますよね。

○会長

それはわからない。現状で利用者数は減少している。船舶の更新により、経費の抑制が期待できる。

○委員

繰入金は減っているということですか。

○会長

繰入金は増加している。

○事務局長

いかに経費を削減できるかということです。例えばですが、1隻減船すると人件費や船舶の維持経費の削減に繋がる。他に、燃料費の価格動向や退職金の有無により、繰入金は大きく変動する。船舶建造や減船などの努力することで抑制していきたい目標値である。

○委員

乗船人員や市負担金の意欲的な数字であることはよい。離島の人が、サービスがよくなった、満足度が高まったと聞くのでそれを強く意識してもらいたい。大いに数字を達成するために行政努力されることは結構なことで、それは期待しています。

○会長

実施計画について、あえて載せないという意見等をいただいた。取り組み期間について短縮できるものもあるかどうか。

○事務局長

短縮できるものは修正し掲載する。若しくは、委員の手持ち資料とするが計画には掲載しないという選択肢が考えられる。

○委員

実施計画は実施するみなさんと話し合っただけでやらなければいけないが、充分やれていない。計画には組み入れるが、現時点で不完全であることを認識してアップデートしていくということでしょうか。今日出した意見も含めて早められるものは早めるなど、今後議論していけばよいと思う。

○会長

修正が必要な箇所については事務局に一任していただき、委員の皆様には諸事情を認識していただき、これから計画をブラッシュアップしていくという扱いでよろしいか。

修正については事務局に一任とし、修正後に国へ提出することとし、市ホームページにて公表することにご承認いただける方は挙手をお願いいたします。(全員挙手) ご承認、ありがとうございました。

○委員

PDCA サイクルの表は一般の人にはわからない。計画に載せなくてもよいのではないか。

○事務局長

修正を行う際に検討します。

○委員

周遊券発券枚数について、文章と表の数値の整合が取れているか確認していただきたい。

○事務局長

修正させていただきます。

(2) 令和3年度鳥羽市地域公共交通会議予算(案)について

○事務局

資料2について説明。

○会長

意見がないようですので、承認いただける方は挙手をお願いします。(全員挙手) ご承認、ありがとうございました。

3. 報告事項

(1) 危険なバス停の移設について

○事務局

資料3について報告。長岡中学校前のバス停について移設が完了した。

事項書にはない追加の報告としまして、今年の1月に実施を予定していた鳥羽高校の生徒が企画したバスの観光プランについて、新型コロナウイルスの関係で延期していました。相差町内会にご協力いただき、かもめバス周遊券を提示することで限定の御朱印をいただける内容で、4月1日から実施させていただきます。

4. その他

○委員

令和4年度から長岡中学校は鳥羽東中学校へ統合となる。平日のバスについては教育委員会が対応と聞いているが、土日のクラブ活動で利用するため、「鳥羽体育館前」バス停までの増便をお願いしたい。子どもたちがバスを利用しやすくなるように、これから検討していただきたい。

○会長

教育委員会とも協議しながら検討させていただく。

○委員

最近のコロナの状況から鳥羽へのお客さんが増えたように思うが、お客さんの入り具合はどのような状況か。

○事務局長

定期船については20%超の落ち込みです。かもめバスについては2月末までで約40%減少しています。

○委員

イベントやろうと思っても加減が難しい。

○会長

鳥羽へ来ていただかないと地域の経済にとってはデメリットであるので、うまく調整しながらやっていかなければいけない。

5. 閉会

○立花会長

令和2年度第2回鳥羽市地域公共交通会議全体会の議事については全て終了しました。これにて、第2回鳥羽市地域公共交通会議全体会を終了させていただきます。